

「多様な人とゆるやかなつながりながら生活」

県内初「コレクティブハウス」

少子高齢化などの影響で地域のつながりが薄れていると言われる中、共有スペースがあり居住者同士の交流を促す集合住宅「コレクティブハウス」が増えている。群馬でも6月、県住宅供給公社が県内初のコレクティブハウスを前橋市元総社町に開設する。【塩田彩】

公社が貸主



コレクティブハウスの運営について意見を交わす入居希望者ら。前橋市紅雲町で

「みんなで食事をわいわい食べるとおもしろいと思う」「食べるのはいいけど、人の食べる分まで作れるかどうか不安」

前橋市内の同公社の一室に20日、30〜70歳の男女5人が集まった。建設が進むコレクティブハウスの入居希望者だ。共有スペースの使い方などについて話し合うワークショップもできる。コレクティブを月1〜2回行い、この日は月に何回か居住者が一緒に食事をとる「コモンミール」について話し合った。参加した安中市の女性会社員(37)は、「いろいろな世代の人と知り合えるし、互いの顔を知っているから防犯面でも安心」と入居希望の理由を話す。

6月、前橋に開設

前橋市の同公社の一室に20日、30〜70歳の男女5人が集まった。建設が進むコレクティブハウスの入居希望者だ。共有スペースの使い方などについて話し合うワークショップもできる。コレクティブを月1〜2回行い、この日は月に何回か居住者が一緒に食事をとる「コモンミール」について話し合った。参加した安中市の女性会社員(37)は、「いろいろな世代の人と知り合えるし、互いの顔を知っているから防犯面でも安心」と入居希望の理由を話す。

コレクティブハウスは北欧で広がり、国内では阪神・淡路大震災後、神戸市が仮設住宅を出る高齢者向けに開設したことをきっかけに浸透した。東日本大震災の仮設住宅後の住まいのあり方としても注目されている。

共同台所や菜園など共有スペースは居住者が組合を作って管理する。住民同士をつなぐ場所と仕組み作りは地味で必要になっていくと話す。

前橋市のコレクティブハウスは、鉄筋コンクリート造り3階建ての1階部分に1K〜1LDK12戸が設けられる。2、3階はサービスタワー、保育園も入る。4月15日まで入居者を募集している。入居条件など詳細は同公社(027・24・1881)へ。